

平成 28年 5月 19日

平成27年度総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類 ※該当する()に ○を付ける	・海外共同 () <input checked="" type="radio"/> 共同研究 () ・個人研究 ()	
研究代表者 (所属・職・氏名)	文芸学部・准教授・谷田貝 雅典	
研究課題名	日本文化を嗜好する国外の大学生と日本の複数大学を結ぶ多地点バーチャル遠隔留学環境の構築	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
塩川 浩子	文芸学部、教授	国際交流・国外大学（マラナタ大学）との連携
水谷 靖	文芸学部、教授	日本芸術・伝統工芸・国外大学との文化交流
田口 亜紀	文芸学部、准教授	国際交流・国外大学（イナルコ大学）との連携
福嶋 伸洋	文芸学部、専任講師	国際交流・国外大学（南米）との連携
上野 慎也	文芸学部、専任講師	国際交流・国外大学（欧州）との連携
永岡 慶三	早稲田大学教授	遠隔教育・国内大学（早大）との連携
安田 孝美	名古屋大学大学院教授	電子社会設計・国内大学（名大）との連携
研究期間	平成 27年 4月 1日 ～ 平成 28年 8月 31日	
海外共同研究を実施することになった経緯（海外共同のみ）		
研究発表(印刷中も含む)雑誌および図書		
<p>(1) 谷田貝雅典, 根来民子, 永岡慶三: “裸眼 3D 視線一致型テレビ会議システムを利用した遠隔学習の効果と身体負荷について” 教育システム情報学会研究報告, vol30,no.6, PP.69-76 (2016)</p> <p>(2) 嶋田啓太, 島村理紗子, 米谷雄介, 谷田貝雅典, 永岡慶三: “裸眼 3D 視線一致型テレビ会議システムを用いた遠隔サッカー指導効果の検証. 日本教育工学会研究報告集, 16(1), PP.323-328.</p> <p>(3) 千嶋崇, 橋場杏奈, 米谷雄介, 谷田貝雅典, 永岡慶三: “裸眼 3D 視線一致型テレビ会議システムを用いた遠隔スポーツ指導におけるスポーツオノマトペの効果. 日本教育工学会研究報告集, 16(1), PP.329-332 (2016)</p>		

研究実績の概要（1）

※以下の予算変更があり、一部研究計画に変更が生じた。

- ・助成申請時に予算計上し認められていた、海外提携大学分の視線一致型テレビ会議システムおよび制御コンピュータの費用は、予算執行を躊躇されたため、学内システムの改良へ振り替えた。
- ・インドネシアマラナタ大学への本学からの招聘講師兼新規研究協力者としての申請が認められなかったため、研究Ⅱの文化交流学習が実施できなかった。

I 国際間多地点遠隔共同研究環境の構築と学習環境評価

システムの配備及び必要な改良が完了した（前項（1））。また、CSCR（Computer Supported Collaborative Research）として、SNSによる課題討論環境や学習効果測定用 Web アンケートシステムなどを構築し運用した。

II 交換留学生候補などを対象とした国際間遠隔交流学习、および国際間学生共同研究指導の実施及び教育効果測定

国内共同研究先の大学とは、遠隔による異大学間共同卒業研究を実施できた。また共同学生研究の成果の一部は、一定の学術的価値も認められ、学会における学生共同研究発表を行った（前項（2）（3））。

国際間遠隔交流学习に関しては、前記に記す研究計画の変更により、マラナタ大学との文化交流学習は実施できなかったが、イナルコ大学との遠隔交流学习は実施した。

III 高臨場感多地点遠隔留学環境による、留学生教授方略研究、および質の高い留学生の獲得戦略の策定

研究ⅠⅡの成果を受け、現在、遠隔留学生教授方略および質の高い留学生の獲得戦略の策定に向けてデータ解析中である。

研究実績の概要（2）